

第2期中期活動目標

平成21年9月18日

徳島県立博物館

近年、生涯学習社会の進展など、博物館をとりまく状況は急速に変化してきました。これまでの資料の収集・保存や調査研究、展覧、普及教育などの事業に加えて、学校教育の支援や社会貢献、博物館活動への県民参画など、新たな課題への取り組みが求められるようになってきました。その一方で財政状況悪化による運営予算の削減、事業評価、および公的施設の運営の見直しなども進められるようになってきました。

こうした状況の変化を踏まえ、徳島県立博物館では平成16～20年度の5年間に推進すべき活動の目標を、第1期中期活動目標（以下、第1期目標）として定め、点検・評価をおこないながら事業の改善と活性化をはかってきました。平成20年度をもって第1期目標の期間が終了したことから、これまでの成果を踏まえながら第2期目標（平成21～25年度）をまとめました。

1. 第1期中期活動目標の総括

第1期目標にもとづいて活動を進めたことにより、事業の目標が明確に可視化され、達成度が客観的に示され、経年的な傾向から将来を予測できるようになりました。さらに、それらのデータを考察することで課題や問題点が明らかにされるようになり、このような情報の共有が館員の意識改革を促すきっかけとなりました。そして、利用者にとって満足度の高いサービスを提供できるよう努めてきました。

このように、第1期目標には博物館活動の改善・活性化に一定の成果があったと考えられ、その成果は年報第14～18号において公表されています。

2. 第2期中期活動目標の策定の経緯と目的

第1期目標にもとづく活動が終わる平成20年度、博物館法の一部が改正され（平成20年6月）、運営状況の評価と運営の改善に必要な措置を講ずるための努力義務が盛り込まれました。これを踏まえ、よりよいものとするよう次の第2期目標の策定に向けて検討を進めました。そのなかで、第1期目標では、博物館の事業が県民にとってどのような意義があるのか、わかりやすく示されていなかったのではないかと考えました。そこで、「県民とともに」を基調として、博物館の使命（存在意義や役割）をわかりやすい形で示したうえで、個々の事業やその目標、評価指標を位置づけることにしました。これにより博物館の事業全体を見渡せるようになり、個々の事業の意義や目標、評価指標の理解も容易になるのではないかと考えました。

3. 徳島県立博物館の使命

徳島の自然・歴史・文化の宝箱
—県民とともに成長する博物館—

徳島県立博物館は、徳島の自然や歴史、文化についての資料・情報にもとづく学びの場として、県民のみなさんとともに成長していきます。

「知」 知と出会う博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化についての情報を発信し、県民のみなさんとともに楽しく学ぶ場を創ります。

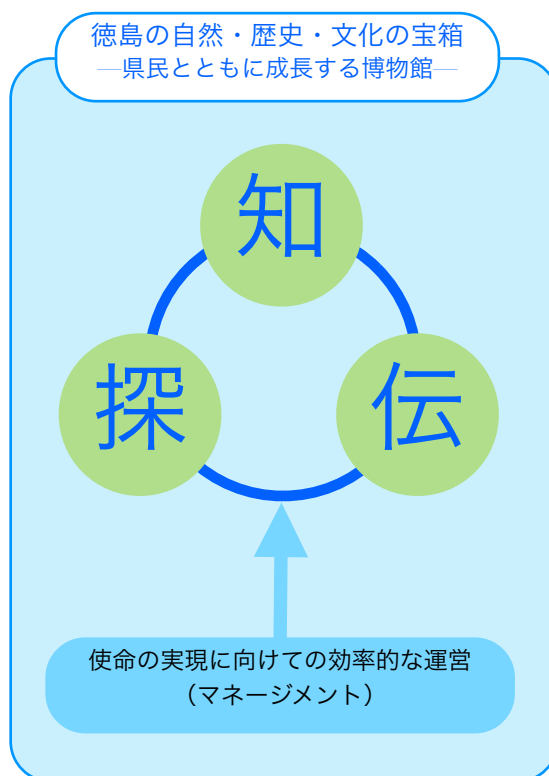
「探」 地域の魅力を探る博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化について県民のみなさんとともに調べ、地域の魅力を見つけます。

「伝」 未来にまもり伝える博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化についての資料を県民のみなさんとともに集め、「みんなの宝」としてまもり、未来に伝えます。

博物館では、効率的な運営を心がけながら、以上の使命を実現するために努力していきます。

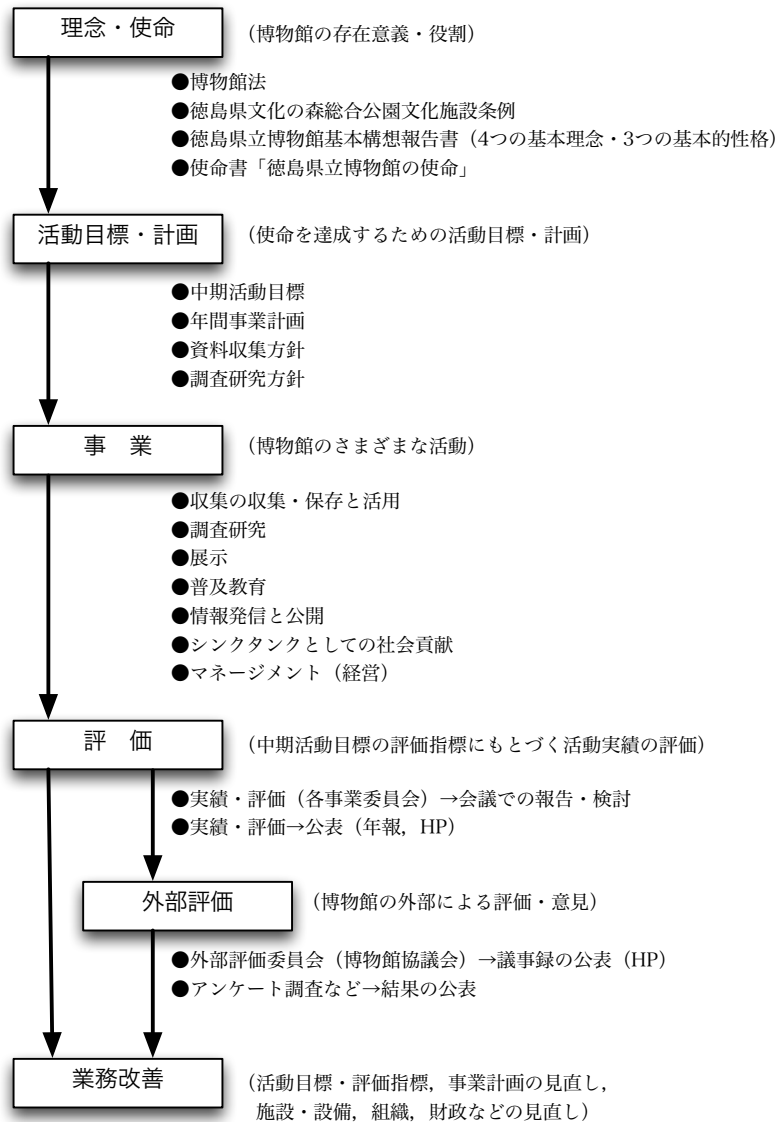


徳島県立博物館の使命における要素間の関係

4. 第2期中期活動目標の推進方法

中期活動目標とは、使命を実現するために、今後5年間（平成21～25年度）の活動目標を事業ごとに定め、年度ごとに評価を行うとともに、事業改善につなげていくためのものです。その推進にあたっては次の点に留意します。

- 中期活動目標は、博物館協議会に諮ったうえで公表します。
- それぞれの活動目標にもとづき、年度計画を立てて活動を推進します。
- 年度末には活動実績の評価を行い、その結果を年報やホームページに掲載するとともに、次年度以降の活動計画に反映させます。
- 活動実績および評価の結果について博物館協議会で議論していただき、外部評価意見としてホームページに記載するとともに、出された意見を次年度以降の活動の改善に役立てます。
- 活動目標と評価指標・目標値については毎年度見直しを行い、必要があればより適切な形に改めます。



中期活動目標の推進手順

5. 事業別の中期活動目標と評価指標

徳島県立博物館の使命を実現するためにおこなう事業は、つぎのとおりです。

- ・「知」知と出会う博物館：展示，普及教育，情報の発信と公開，およびシンクタンクとしての社会貢献
- ・「探」地域の魅力を探る博物館：調査研究
- ・「伝」未来にまもり伝える博物館：資料の収集・保存と活用
- ・効率的な運営：マネージメント (経営)

以下では、事業ごとに中期活動目標の項目，評価指標，および目標値などを示します。

1. 展示

県民のみなさんが楽しく学べ、新しい発見や家族のふれあいのきつかけとなる場を創り出します。実物資料や最新の情報に基づき、徳島及び関連する地域をはじめ世界の自然や歴史、文化について幅広く展示します。（使命：「知」知と出会う博物館）

中間活動目標の項目	中間活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
1-1 常設展の改善・充実	新しい資料の追加、研究成果の反映、展示技法の改善などにより、常設展の改善・充実に努めます。	常設展観覧者数 観覧者のリピーター率 観覧者の満足度 新たな知識 他人への推薦 展示改善の実施状況	年間の総観覧者数 過去1年以内の利用経験者の占める割合 アンケートにおいて新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合 アンケートにおいて他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合 定期的に展示替えするコーナーを除く	40,000人/年 40% 70% 70%	
1-2 魅力ある企画展の計画的開催	収蔵資料の特色や調査研究成果を活かすとともに、県民のニーズを反映し、多様なテーマの企画展を計画的に開催します。	企画展観覧者数 観覧者の満足度 新たな知識 他人への推薦 社会的評価 企画展の検討状況	1回あたりの観覧者数 アンケートにおいて新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合 アンケートにおいて他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合 マスコミによる取材・報道数	自然 7,000人 人文 3,500人 80%/回 80%/回 5社/回	
1-3 多様な展示の開催促進	企画展以外に特別陳列、部門展示等の多様な展示の開催を進めます。	特別陳列等の開催回数 特別陳列観覧者数 観覧者の満足度 新たな知識 他人への推薦 社会的評価 特別陳列等の検討状況	企画展以外の主催展示の取り組み回数 1日あたりの観覧者数 アンケートにおいて新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合 アンケートにおいて他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合 マスコミによる取材・報道数	5回（特1・部4） 200人 80%/回 80%/回 5社/回	常設展ロビーにおける資料紹介などの実績があれば算入する 開催日数の長短の差が大きい 特別陳列のみ 特別陳列のみ
1-4 他機関との共同展示等の促進	文化の森内での共催展、館外での移動展、パッケージ展示の貸出等により、各種の展示を促進するとともに、県内の博物館施設を支援します。	文化の森内での共催展の開催回数 移動展等館外での展示の開催回数 パッケージ展示の貸出数	博物館占有スペース以外を利用し、当館の間わりが補助的なもの 文化の森外の博物館等において当館を主催者に含む展示の開催回数 他博物館等への貸出用展示メニューの利用件数。該当する展示が当館を主催者に含む場合は、移動展と見なす	1回/年 2回/年 1件/年	
1-5 展示解説等の推進	図録や解説書の発行、学芸員や受付案内員による展示解説等により、観覧者が展示を理解し楽しめるよう手助けします。	図録等の発行状況 展示解説等の実施状況	年間の刊行件数 展示の理解を支援する各種の活動の実施状況		
1-6 県民などとの協働による展示の推進	県民などの力を借りて、より魅力ある展示を目指します。	協働の実施状況			
1-7 常設展のリニューアルに向けての取り組みの推進	将来の常設展の全面リニューアルを目標に、館内での検討を進めるとともに、関係方面の理解が得られるよう努力を継続します。また、全面リニューアルの実現までの間、展示替えに努めます。	リニューアルに向けての進捗状況	リニューアルに向けての協議や施設調査等の取り組み		

2. 普及教育

徳島の自然や歴史、文化について体験したり、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供することにより、学校教育や県民の生涯学習を支援します。（使命：「知」知と出会う博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
2-1 県民のニーズを反映した多様な催しの開催	県民のニーズに対応した多様な普及行事を企画し、多様な学習機会を提供します。また、移動講座等のアウトリーチ活動にも積極的に取り組みます。	普及行事実施回数 普及行事参加者数 参加者の満足度 アウトリーチ活動数	指標の定義 事後アンケートにおける満足回答者の割合 他館との共催による普及行事（展示を除く）	70回/年 3,000人/年 満足した者の割合80% 5回/年	移動展の展示解説1件も1回とする
2-2 学校教育支援事業の推進	学校への資料貸出や出前授業、また博物館での授業や教員研修、職場体験、遠足等を受け入れ、学校教育を支援します。	支援事業案内パンフレット配布状況 出前授業件数 資料貸出件数 館での授業件数 教員研修件数 職場体験件数 遠足件数 教員・生徒の満足度	県内全教員（小・中・高） 出前授業15件/年 資料貸出10件/年		
2-3 普及的記事の執筆推進	身近な自然や歴史、文化に関する理解を手助けするための、ガイドブックの出版や、新聞・雑誌等への解説記事の執筆を進めます。	ガイドブック出版状況 普及的記事の執筆数 博物館ニュース発行回数	年報「調査研究事業」本文に掲載されている一般者述数	1冊/年 40件/年 4回/年	
2-4 友の会活動の充実と活性化	友の会の指導・育成に努めるとともに、自主的な活動を支援し、友の会活動の充実、活性化を図ります。	友の会会員数 個人会員 家族会員 会員の継続率 個人会員 家族会員 友の会行事実施回数 展示利用率 個人会員 家族会員 延べ利用者数 個人会員 家族会員 会報の発行回数	友の会（個人・家族）の会員総数 当該年度会員に占める前年度会員の割合	400人/年 前年度会員の70%	括弧内に参加者数を並記
2-5 県民参画型活動の推進	県民参画による行事や県民による普及行事支援等の活動を推進します。	公募ボランティア登録者数 公募ボランティア活動回数 企画運営型行事等件数 普及行事支援件数	県民による企画展運営型行事の数 県民による普及行事支援の数	3回/年	

3. 情報の発信と公開
 博物館の催し物案内等だけではなく、博物館活動に関するさまざまな情報をより多くの人に知ってもらい、博物館を有効に活用する利用者が増えるよう、インターネットや様々なメディアを通じて積極的に情報を発信します。(使命：「知」知と出会う博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
3-1 マスコミへの資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報を積極的に資料提供するよう努めます。	資料提供件数 マスコミ取材報道件数 マスコミ出演件数	マスコミに対して資料提供を行った数 新たに新聞が取材し、報道した数 学芸員がマスコミに出演した数	30件/年	
3-2 広報活動の強化	広報関係出版物の内容改善、配布ルートの開拓など、広報活動を強化します。	広報手段の新規開拓状況 広報関係出版物発行状況 Eメール配信登録件数	新たに開拓した広報手段 年度末時点のEメール配信の登録件数		
3-3 インターネットによる情報発信の推進	インターネットによる情報発信を推進するため、学芸員による積極的な情報発信を促し、ホームページの充実を図ります。	HPアクセス数 新規コンテンツ数 内容の更新頻度	トップページへのアクセス総数 新たに作られたページの数 内容が更新された回数	32,000件/年 30ページ/年 月3回以上	

4. シンクタンクとしての社会貢献

博物館は、博物館活動を通じて様々な資源（資料・情報・情報・学芸員等の知識）を蓄積しているシンクタンクです。これらを活用し、自治体や地域社会、学会等の事業推進に貢献します。（使命：「知」知と出会う博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
4-1 レファレンス利用者の拡大	来館による相談のほか、手紙や電話、メールでの質問等に親切に対応し、「何でも相談にのってもらえる博物館」との評価の定着を図ります。	レファレンス件数	レファレンス記録DBにおける記録件数	300件/年	
4-2 講師派遣等の推進	他機関が主催する講演会、研修会等に学芸員を講師として派遣します。	講師派遣等件数 講演会等の受講者数	小中高への出前授業を除いた講師派遣等の件数		小中高への出前授業は「2-2 出前授業件数」を参照
4-3 自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	自然環境保全や文化財保護など自治体やその他の機関・団体の委員会委員やアドバイザーとして、専門知識の提供を行います。	委員等受託件数 機関・団体等への協力状況	学会・博物館関連団体の委員等を除く		
4-4 大学教育への寄与	大学の非常勤講師の受託、学生・院生の研究指導、博物館実習生の受け入れ等により、大学教育に寄与します。	非常勤講師受託数 博物館実習生受入人数 学生・院生指導人数		20人/年	
4-5 学会・研究会の運営への寄与	学会・研究会を博物館で開催するほか、役員や各種委員等を引き受けるなど、学会等の活動に貢献します。	学会等開催数 学会等役員受託数 学会等事務局受託数	学会・研究会の大会・例会・シンポジウム等の開催数 学会・研究会における役員・委員等の受託数 当館が引き受けている学会・研究会の事務局数		
4-6 博物館施設の連携強化への貢献	県内の中核的博物館として、博物館施設への助言を行うとともに、県博物館協議会の活動等を通じて博物館施設の連携促進のために尽力します。	博物館関連団体委員等受託数 博物館関連団体加入数 連携事業等の実施数	博物館関連団体や他館の委員・役員等の受託数 当館が加入している博物館関連団体の数 移動展・移動講座や他館との共催事業、資料保存等の支援の実施回数		

5. 調査研究

徳島の自然や歴史、文化に関する基礎的な研究および博物館学的調査研究を、県民のみならず、新たな事実や価値の発見に努めます。また、成果を博物館へ還元するとともに、地域の魅力を引き出すよう努めます。（使命：「探」地域の魅力を探る博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
5-1 調査研究活動の推進	徳島の自然や歴史、文化に関する基礎的な研究および博物館学的調査研究を積極的にすすめます。	課題調査実施状況 個別調査研究の実施状況	課題調査とは予算化された研究テーマ 課題調査以外の研究テーマの実施状況		
5-2 外部研究機関等との連携の推進	他の博物館や大学、研究団体、学会、研究者との共同研究を積極的にすすめます。	共同研究件数 共同研究プロジェクト件数	他機関やアマチュア研究者との研究件数 上記のうち予算的措置を伴う共同研究の件数	10件/年 3件/年	人的・予算的規模の大小は問わない 料研費プロジェクトの研究分組を含む
5-3 県民参画型調査研究の推進	博物館の研究活動に県民のみならず参画できるようなプロジェクトを企画・実施します。	県民参画型調査の件数		2件/年	
5-4 外部資金の獲得による調査研究事業の推進	公的および民間の研究助成金を獲得し、研究活動の推進を図ります。	公的な研究助成金の申請・採択件数 民間の研究助成金の申請・採択件数	科学研究費補助金など公的機関による競争的研究資金	申請6件・採択1件	
5-5 調査研究成果の公表	博物館の調査研究の成果を学術論文や学会発表、研究報告書の出版、マスコミなどへの資料提供を通じ公表します。	学術的著述数 学会・研究会での発表件数 マスコミへの資料提供件数	年報「調査研究」本文の学術的著述の件数 学会や研究会での口頭・ポスター発表の件数 3-1の資料提供件数のうち調査研究に係わるものの件数	24本/年（査読付き4本/年） 24件/年 2件/年	学芸員数×年2本 学芸員数×年2回

6. 資料の収集・保存と活用

徳島と徳島に係わりのある地域の自然・歴史・文化についての資料を県民のみならずの協力のもと、様々な手段で継続的に収集します。集めた資料は「みんなの宝」として整理・保管し、未来に伝えます。収集した資料は、調査・研究や展示で利用するほか、他の博物館や研究者、マスコミなどへ積極的に貸し出しや提供をはかり、様々な形で活用します。（使命：「伝」未来にまもり伝える博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
収集					
6-1 継続的な資料の収集	資料収集方針に基づき、採集・購入・寄贈等による継続的な収集を進め、バランスのとれた特色あるコレクションづくりを行います。	収集資料点数 新規資料増加点数 採集資料件数 購入資料件数 寄贈資料件数	収集資料点数 購入・寄贈図書数（雑誌類を除く） 購入・寄贈図書数（雑誌類を除く） 購入雑誌タイトル数	H25年度まで512,000点 6,000点/年 20件/年 3件/年 80件/年	H20年度末現在で481,981点、H23に50万点 H14～20年度の平均増加点数5,537点から H16～20年度の平均16.6件から H17年度以降0件 H14～20年度の平均82.1件、ここ5年間は H20年度末現在で62件 H14～20年度の平均は7.9件、ただし、ここ5年間の平均は3.0件 H16～20年度の購入の平均137.0冊
6-2 寄託資料の受入の促進	県内の貴重な資料の安全な保管と展示公開の促進を図るため、資料の寄託の受け入れを促進します。	寄託資料件数 新規寄託件数	収蔵図書総冊数（雑誌類を除く） 購入・寄贈図書数（雑誌類を除く）	3件/年	
6-3 文獻資料の充実	資料を活用するうえで不可欠な文獻資料の充実に努めます。	図書冊数 新規受入図書冊数 購入雑誌タイトル数	収蔵図書の総冊数（雑誌類を除く） 購入・寄贈図書数（雑誌類を除く） 購入雑誌タイトル数		
保存					
6-4 収蔵資料データベースの整備	収蔵資料の整理・登録を進めるとともに、資料を適切に管理し、活用を図るうえで不可欠なデータベースの整備をはかります。	収蔵資料DB登録率	(DB登録点数/収蔵資料点数)×100	50%	
6-5 資料の安全な保存	収蔵庫や展示室の点検や資料の燻蒸等により、収蔵資料の安全な保存を図ります。	収蔵庫点検回数	収蔵庫あるいは収蔵庫内区画あたりの点検回数	6回/年	収蔵庫あるいは区画ごとにチェックリストを定め実施
6-6 常設展示室の資料保存環境の改善	常設展示室での安全な資料の保存環境を確保するため、空調・除湿機能を付加するよう関係方面に働きかけます。	資料保存環境の状況			
6-7 収蔵スペースの確保	収蔵資料の増加に伴い、不足しがちな収蔵スペースの確保のための工夫をします。	収蔵スペースの状況			
活用					
6-8 展覧における利用促進	収蔵資料の展覧における利用・公開の促進をはかります。	展示利用点数 常設展 常設展以外の展示	寄託資料の利用も含む		
6-9 貸し出し等の促進	貸し出しや提供などによる収蔵資料の活用をはかります。	資料特別利用等件数	学校貸出し（2・2学校への資料貸出件数を参照）を除く	60件/年	H16～20年度の平均64.2件

7. マネージメント（経営）
 利用しやすい博物館とするための施設の改善、博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討、職員の意識改革と資質の向上、適切な博物館評価システムの確立等により、博物館活動の改善と活性化、利用者の増大を図ります。（使命：効率的な運営）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
7-1 利用しやすい博物館をめざす施設の改善	わかりやすい案内表示、バリアフリー化や安全対策等に配慮し、高齢者や障害者にとっても快適で安全な利用しやすい施設となるよう、日常的な点検・改善を行います。	点検・改善の状況			
7-2 博物館認知度の向上と利用者層の拡大	博物館活動の活性化と広報の強化により、県内及び近隣地域での博物館の認知度を高め、博物館利用者の層の拡大と利用者層に結びつけます。	県民の博物館利用状況 県外利用者の割合			
7-3 県民参画の仕組みづくり、博物館運営支援組織のあり方等の検討	友の会会員やボランティア等による様々な博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討を行うとともに、友の会を母体とした博物館の運営支援組織のあり方について検討します。	ボランティア導入事業件数 ボランティア活動参加者数 運営支援組織の検討状況	参加者の延べ人数		
7-4 設置者による理解及び外部資金の獲得	博物館の使命、当館が果たしている幅広い役割等に対する県及び県教育委員会の理解を得るとともに、財政的支援等が得られるよう努力します。また、各種外部資金の獲得に努め、より効率的な運営を目指します。	博物館予算の状況 外部資金獲得数			
7-5 防災意識の向上と危機管理体制の強化	地震等の自然災害や火災、盗難、けが人の発生等に備え、文化の森他館と協力して防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。	防災訓練の実施状況 危機管理体制の整備状況			
7-6 職員の意識改革と資質の向上	職員が博物館の社会的役割及び当館の使命を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、意識改革と資質の向上を図ります。				
7-7 博物館評価システムの構築	博物館活動の中期活動目標に基づく自己点検評価、博物館協議会による外部評価、結果の公開という適切な博物館評価システムを確立し、博物館活動の改善に役立てます。	中期活動目標の状況 自己点検評価の状況 外部評価の状況			